



人 物 鑑 義 須 ち

那須高生がつくった

鑑 2 ち

The people of Nasu

戸野温故

Hello,



人物 鑑 那須 まち

The people of Nasu

2

栃木県立那須高等学校



人物図鑑2を手にとっていたいただき
ありがとうございます

人物図鑑は、私たち生徒が
気になる職業の方に
インタビューさせていただいた本です

有志で集まった生徒で編集委員会を発足し
コーディネーターさんのアドバイスのもと
去年の内容をアレンジしたり
デザインを考えてみたり…
表紙から編集後記まで
全てのページを話し合いながら
制作しました

今回も様々な方の
仕事内容や
仕事に対する考え方
那須町への想いなどを
お聞きすることができました

一年かけて作り上げた
大切な本です
ぜひ読んでみてください

那須高校二年生
編集委員一同



栃木県立那須高等学校 校長 臼井 伸一

Shinichi Usui

画を実施していただきました那須町議会議員長の池澤昇秋様はじめ町議の皆様、那須町役場には本当に感謝申し上げます。

本校の教育カリキュラムの中には、那須町の地域資産を活用したものが多く組み込まれており、リゾート観光科のホテル実習や体育の授業で行っているゴルフ実習やスノボ教室などは、まさに那須高校ならではの授業であります。体験型授業としては他では行えないユニークかつ実務的なカリキュラムであります。これらも那須町の方々の協力のおかげで円滑な実施がなされています。那須高校は小規模特例校となつて3年が経ちまし

たが、小さくなつたからこそ機動力を生かして数々の学校行事を実施できています。進路指導も充実し進学・就職も頑張っています。本校生が将来那須町を支える人材となつて活躍してくれることを願つてやみません。

最後になりましたが、これまで「那須まち人物図鑑2」の発行にご尽力いただきましたすべての皆様に感謝申し上げますとともに、これからも那須高校の教育活動を見守り、ご指導をいただきたいと切にお願い申し上げます。

那須高校沿革

昭和24年	栃木県立那須農業高校（現 栃木県立那須拓陽高校）黒田原分校設立
昭和25年	当時の那須村、芦野町、伊王野村、鍋掛村の組合経営に移管
昭和31年	商業科が設置（定員20名）
昭和34年	那須高校として独立誓願を県に行う
昭和35年3月31日	黒田原分校が廃校
昭和35年4月1日	栃木県立那須高等学校が開校
昭和37年	全日制課程に変更 普通科（100名）商業科（50名）農業科（30名）
昭和39年	普通科（150名）商業科（50名）学年4学級編成
昭和49年	普通科1学級増の4クラス（180名）商業科（45名）学年5クラス
平成10年	商業科を廃止リゾート観光科を設置
令和2年	小規模特例校 リゾート観光科1クラス普通科2クラス 学年3クラス
令和2年	創立60周年式典挙行

The people of Nasu

那須まち人物図鑑2 発刊にあたり

未来を見つめて

「未来を創る高校生地域連携・協働推進事業」の3年目が終了するにあたり、昨年に引き続き「那須まち人物図鑑2」を発刊することができました。昨年は、手探りの状態で第1弾を作りました。どんなものだろうと不安があり、恐る恐るの発刊だったのですが、手に取っていただいた方々からかなりの好評を博しました。テレビで紹介されたこともあり県外からも引き合いがありました。その好評ぶりに快哉を叫ぶことができ、ご協力をいただきましたすべての方々に心より御礼を申し上げます。那須町は本当に多く

の素敵な大人がたくさんいて、高校生の目線であこがれるのは無理がないと感じています。そんな選りすぐりの魅力人を今回もご紹介できることは本当に喜びに堪えません。

少子高齢化がますます進む中、成人年齢が18歳に引き下げられて、3年生の多くが令和4年の4月から順に成人となりました。主権者として自分の一票を暮らしのために投ずることができるようになったけれど、主権者教育とはいかにして行うべきかと悩んでいたところ、春に那須町議会から議会傍聴のお誘いがあり生徒たちを傍聴席に座らせました。町政の運営はこうして行われていると知ることが

できて大変難しい経験をさせていただきました。また、年の瀬を迎えた暮れ12月にはその町議会事堂において生徒たちに模擬議事を行わせていただきました。これまたますます得難い経験をさせていただけました。生徒の代表者が町政本番さながらに町議会議員の方たちに質問をぶつけ、回答をいただくというなんとも華々しい企画を実施していただきました。「休日における那須街道の混雑を緩和できないか」とか、「少子化に対する対策はどのようにしているのか」など那須町を憂いて、大人顔負けの質問もあつたり、日頃の本校に対するお礼を述べる内容もあつたりと、ここまで総合的な探究の時間で学んだことの成果が見られるひと時でありました。このような企

02

この本を手にとっていただいた方へ

那須高校二年生編集委員一同

04

那須まち人物図鑑2 発刊にあたり

栃木県立那須高等学校校長 白井伸一



18 16 14 12 10 08

秋元勇太さん

那須高原清流の里

井下田陽平さん

WHITE NOTE

石田多朗さん

作曲家・経営者

石山美郷さん

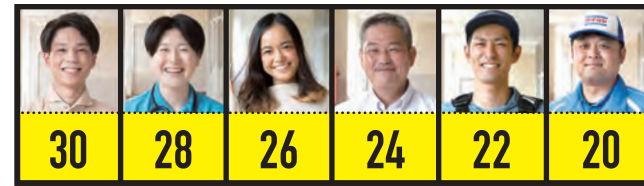
福祉ネットやわらぎ

伊藤響さん

芦野温泉

大高貴子さん

旅館ニューおおたか



30 28 26 24 22 20

大塚透さん

タイロン株式会社 那須工場

金澤広大さん

ネイチャープラネット

小林達也さん

栃木県議会議員

こんどうあゆさん

ヨガインストラクター・インフルエンサー

齋藤友紀子さん

那須訪問診療所・理学療法士

佐々木大地さん

ホテルエビナール那須



42 40 38 36 34 32

高久涼乃さん

黒田原第一保育園

高久秀樹さん

那須町商工会

竹井海さん

カフェ&パイタラゴン・ジュエリー作家

長谷川英司さん

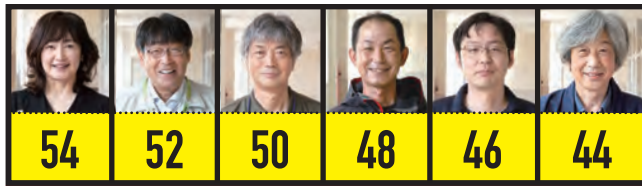
JUN TREE SERVICE

畠山奈々子さん

百姓はたけやま・千振のいちご畑

平山沙弥香さん

那須高原りんどう湖ファミリー牧場



54 52 50 48 46 44

藤田和典さん

みちのく民芸店

布野太郎さん

那須中央中学校

増淵耕樹さん

マウントジーンズ那須

村山二郎さん

栃木県立なす高原自然の家

矢村浩一さん

那須町役場

米倉万美さん

画家

56 58 59

那須まち人物図鑑2ができるまで

高校と地域を結ぶ「魅力化プロジェクト」

那須高校魅力化コーディネーター 佐藤達夫

那須高校の生徒より講師のみなさまへ
〜本当にありがとうございました〜

那須高原 清流の里
秋元 勇太 さん
あきもと ゆうた



那須町の良いところは、自然が豊富で見ただけの観光だけでなく体験もできることです。自然を体感しながら食事ができるところなどに魅力を感じるそうです。

仕事をする上で常に頑張ろうと思っていることは、接客で良い印象を与えることです。リピーターのお客様が多いため、お客様に合わせて接客を変えたり、堅苦しくならないよう友達になるような感覚で、もう一度行きたいと思ってもらえるような接客を心がけているそうです。

仕事をするうえで大変なことは、接客業は土日休みがなく、夏休みやゴールデンウィークなどの

那 須高原の清流の里で働いている秋元勇太さんは、私たちの先輩である那須高校の卒業生です。

清流の里は、滝のある釣り堀で、ニジマスやイwanaなどを釣ることができます。釣った魚はお店で焼いてもらってその場で食べることができ、お店では蕎麦などのランチメニューもあります。秋元さんの仕事の担当は釣り堀や食堂です。釣り堀では、接客や魚をさばいたりしています。魚に刺す串は手作り、他にもお店のものは全てこだわって作っているそうです。昔から来てくださるリピーターの方に、ご飯を食べて美味しかったと言われることが嬉しく、清流の里が愛されているお店だからこそ、ここでの仕事にやりがいを感じられるそうです。

那須高生を含む若い世代に期待することは、やりたいことがあるなら自分のやりたいことをやってほしい、

ということです。無理に地元に残ってほしいわけではないけれど、やりたいことがないなら、生まれ育った地元で働いてもいいと思う、とおっしゃっていました。

那須の魅力を
地元の食材と共に

インタビューの中で秋元さんは、那須町と仕事についてたくさんのお話を教えてくれました。秋元さんは、長年那須に住み、那須の魅力を十分に知り尽くしています。若い方々の力やSNS・テレビでの情報発信で、多くの人にその魅力を伝えていきます。



大型連休はとても忙しいことです。それに比べて冬はお客様が激減してしまいます。一年を通して、何も食べてもおいしく魅力あるお店になるよう、季節限定メニューを作り集客に努めています。



今回のインタビューを通して、来てくれたお客さん全員に心から喜んでもらえるようにと一人一人に対して丁寧な接客を心がけて

いるところに、秋元さんの仕事に対する真剣な思いが伝わってきました。

秋元さんはとても明るく優しい方で、私たち高校生に近い距離間で接してください、とても話しやすかったです。秋元さんのお話を聞いて、自分の得意なことをとことんやり、本当にやりたいことを見つけないと心から思うようになりました。そして、そこから楽しくやりがいを感じられる仕事に就きたいと思います。今の自分たちにできる勉強や部活に精一杯取り組み、今から将来のことをしっかり考えていきたいと思いました。

(入波・織田・菊地・瀬山)



那須高原 清流の里

〒 325-0303 栃木県那須郡那須町高久乙 2714-2

TEL / 0287-78-0337

HP seiryunosato.com

Instagram seiryunosato



HP



Instagram



や、視野が広くてユニークな人が多いところだそうです。

井下田さんは、イギリス留学をしていたことがあります。留学を決意した理由は、デザインが好きで日本以外の世界観を見たかったからです。しかし、途中で断念し日本に帰って来ました。イギリスの大学は入るのは簡単ですが、出るのが難しい



WHITE NOTE
井下田 陽平 さん
いげた ようへい



うです。そのため、もう一度トライしてみたいとおっしゃっていました。

今回のインタビューで井下田さんは、仕事に関しての質問に一つ一つ丁寧に答えてくれました。

井 下田さんは、WHITE NOTEという生活用具店の店主です。夫婦2人で経営しており、掃除用具・食器・家具・照明・ファッションなど特に生活の中で長く使えるものかどうかを考慮して販売しています。また、住宅・店舗・事務所のインテリアデザイン・ロゴや名刺・広告媒体のグラフィックデザインなども行っています。

人気のある商品は、男女ともにアクセサリーや靴下ですが、コロナが流行ってからオフィス系の家具も売れるようになったそうです。

仕事で心掛けていることは、清潔感を守り、自信をもって仕事をする、お店の雰囲気をつくり出して見てもらえるように楽しく仕事をすることだそうです。

た。一番印象に残ったのは家具以外に日常生活で必要なものが販売されていることや、仕事ばかりせず楽しみや趣味の時間をつくりリフレッシュしていることです。お客さんへの気遣いで生活用品も販売していて素敵な心遣いだと思いました。また、私たちも生活の中で、趣味の時間をつくらリフレッシュすることは大切なことだと思います。

井下田さんへのインタビューで沢山のことが聞けました。将来就職した際に今回学んだことを活かしていきたいです。



(鈴木・高野・平山・福田)



WHITE NOTE ホワイトノート

〒325-0303 栃木県那須郡那須町高久乙 142-19

TEL / 0287-73-8300

HP whitenote.jp

whitenote.nasu



HP



Instagram



仕事に疲れたときには、睡眠をしっかりと、楽しみや趣味の時間を作りリフレッシュしているとおっしゃっていました。

那須町の良いところは、事業者が多くお互いを助け合い協力していたり、他県から来る人が多いこと

うです。その時に考えていることは、今日何をするか、自分のために何が役に立つのかなど考えるそうです。また、曲の構成を考える時は、自分の思いやどんな感じに作るか、イメージを膨らませることにより、メロディーやコードなどが頭に浮かび上がるそうです。

私たちも毎日行動する前に今



作曲家・経営者(株式会社Drifter)
石田 多朗 さん
いしだ たろう



今

回 私たちは石田多朗さんにインタビューしました。石

田さんの職業はミュージシャンでもあり作曲家でもあります。それ以外にも音楽監督や映像、BGMなど数々の作品を手がけるなど、幅広い活動をしています。

石田さんはアメリカのボストン出身、カルフォルニアなどで5歳まで過ごし、その後来日。東京藝術大学に入学し、【電子音響、作曲・民族音楽学・雅楽・音楽楽理】などを学び、職業作曲家として活動。大学を卒業後は、作曲家としての道を進み続けています。

現在は、東京都庭園美術館、日本科学未来館、森美術館などの音響の担当。また、NHK、UNIQLO、TOYOTA、HONDAなどの様々なコンテンツにおける音楽を作っており、日々

日は何をするか、自分の苦手なことをどうしたら克服できるかなど、自分自身と向き合う時間を作り、目標を立てて生活していこうと思いいました。

石田さんに、那須町の良いところについて質問しました。那須町は自然が豊かなところがいいとおっしゃっていました。石田さんは以前、東京で作曲をしていましたが、自由に音を出したりすることができず、ストレスを感じていたそうです。自由に活動したいと考えた石田さ

んは、那須に友人がいたことから、那須町にきました。那須町は、自然が豊かで大きな音が出せる環境があり、自由に音楽制作ができるそうです。

今回、石田多朗さんにインタビューをして、音楽の素晴らしさについて改めて知ることができました。仕事は一つではないこと、夢は何個もあること。その夢を叶えるために行動することの大切さを教えていただきました。私たちも一日一日生活していく中で目標を持って、夢に向かって突き進んできたいと思っています。

(及川・下村・高橋・メント)



研究・制作し、発表しています。

イメージを膨らませて

石田さんは、作曲家一本でやっていくという考えではなく、音楽の仕事を幅広くしていきたいと話しており、音楽の仕事は、作曲家以外にもたくさん仕事があることを教えてくれました。そして、自分の仕事に取り掛かる前に5〜10分程度考える時間を作るそ



株式会社 Drifter

HP drfr.co.jp



HP





がいを学ぶ事があるそうです。他にも、「すまいる工房」という施設があり、やわらぎの利用者さんたちが働いています。そこでは、トートバッグやマスキューズ、押し花などを作ったり、ゆめプラザやお寺の草刈りをしたりしています。また、トマトの栽培をしており、できるだけ農薬を使わずに作っています。そのトマトを利用者さんたちと収穫しているそうです。動くのが難しい利用者さんは室内



魅力を知って欲しい

石山さんが思う那須町のいいところは、素敵な場所がたくさんあり、住みやすく、遊ぶ場所もたくさんあるところとおっしゃっていました。課題は、魅力がたぐさんあるのに若い人がどんどん引越してしまい人口が減ってきているので、県外の人たちもたくさん那須町に来て住んでほしいとおっしゃっていました。

でトマトを洗ったりしています。栽培したトマトは、「かふぇ大和屋」に提供してパスタに使用しています。

若い世代に期待することは、那須町を愛し、素晴らしいことを知って那須町に住んでほしいとおっしゃっていました。他にも、多くの人が福祉に興味を持ち、福祉の仕事に就くだけでなく、福祉の魅力ややりがいを感じてほしいと願っているそうです。

石山さんにインタビューをして、私たちは福祉についてより深く知ることができました。福祉には、介護福祉だけではなく障害者福祉があることを知りました。地域に障害者施設があるのは少ないと思うので私たちの地域にあることはとてもありがたいことだと思いました。



(宮野・館野・千葉・橋本)



有限会社 福祉ネットやわらぎ

〒329-3222 栃木県那須郡那須町寺子丙 711-43

TEL / 0287-72-7250

HP fukushinet-yawaragi.com



HP



福祉ネットやわらぎ
石山 美郷 さん
いしやま みちる



黒 田原にある福祉ネットやわらぎで働いている石山美郷さんにインタビューしました。石山さんは、那須町で生まれ、那須町で仕事をしています。

福祉ネットやわらぎは、那須町を拠点に始まった施設です。その他にもグループホームと福祉タクシーがあります。グループホームは5つあり、なごみ、よつば、やわらぎ、せせらぎ、おとわがあります。この5つは、地域で共同生活を行う住居で、日常生活上の相談や支援を行い、また短期入所では、住宅に於ける生活が一時的に困難等な方に対し、グループホームを利用して短期的に日常

生活上の支援を行っています。福祉タクシーは、高齢者の方や障害を持った方たちが利用できるタクシーで、車椅子などで移動が困難な方でも利用できるタクシーです。この福祉タクシーは、県内で福祉ネットやわらぎが最初に始めたそうです。

石山さんの主な仕事は、障害を持った方や特別支援学級の子供たちが地域で暮らしていくためのお手伝いです。

笑顔がやりがい

仕事のやりがいは、利用者さんの笑顔や楽しんでいる姿を見ることが、利用者さんに喜んでもらうこと、その人に合った仕事を提案してその仕事を楽しんでいる姿を見ることが話してくれました。利用者さんからもやりがいや生き

芦野温泉
伊藤 響さん



響さんは、さいたま市で生まれ20年前に那須町にきました。芦野温泉は旧奥州街道の宿場町芦野本陣の近くに位置する、喧騒から離れた穴場的な温泉です。

主なお仕事は、バスツアーや日帰り温泉のサービスだそうです。やりがいを感じる時は、お客様が孫みたいに優しく接してくれたり、いろいろな人と繋がることでできた時だそうです。他にもたくさんの方がいると聞き、温泉で働く楽しそうだなと思いました。仕事で気を付けていることは「いらつしやいませ」を言わないこと。「こんにちは」や「おかえりなさい」などを使って、他人行儀にならないようにしているそうです。

失敗から学ぶ

仕事で大切なことは、たくさん失敗してそこから学び覚えることだそうです。人間なので失敗するのは当たり前で、そこから反省して前向きにまたチャレンジすることが

大切だと教えていただきました。私たちも失敗しても落ち込まずに、前に進んでいきたいと思いました。

次に那須町の良いところ、課題について聞いてみました。那須町の良いところは静かな環境で落ち着くところ、自然が豊かで空気がきれいというところだそうです。人が優しいところも大きな魅力だと教えてくれました。その中でも特に嬉しかった事は、20年前、那須町にきたばかりの頃に隣のおじちゃんが野菜をくれたことで、今でも覚えていそうです。

那須町の課題は、車がないと不便なところで、特に高齢者の移動手段や生活支援が足りていないことだそうです。僕たちに何かできることはないか考え直すきっかけになりました。

那須高生を含め、若い世代に期待すること

大変なことがあるが、それを少しずつ理解していくことが大切で、続けていく上で気持ちが楽になる方法だと教えてくれました。

チャレンジすることの大切さ

「やりたいことにチャレンジする、色んなことに触れ、経験することは、絶対にやってみる。」自分が何に興味があるかを知ることができるとし、何が将来に繋がるかわからないからです。

響さんは、学生時代にふとしたきっかけで始めた手話がとても興味深く、地道に続けていたらみるみるうちに上達し、今では耳の聞こえないお客様の対応もされているそうです。何が自分の仕事に繋がるかわからないからこそ、どんな事にも挑戦してほしいと強く仰っていました。

私たちはインタビューに加え、インターンシップも響さんがいる芦野

温泉に行きました。そこでは、インタビューだけでは分からない接客の大変さや、お客様の温かさを感じることができました。

インタビューを通して響さんは自分の経験を生かして、色々なことを教えてくれました。私たちの人生は一度きりなのでいろいろなことにチャレンジして、たくさん失敗を乗り越え、成長していきたいと思っています。また、芦野温泉の素晴らしいさを広め、たくさんのお客様に来ていただけるように頑張りたいと思いました。温泉が大好きな方も、これを機に行ってみたいなと思った方も、ぜひ芦野温泉にお越しください！温かいおもてなしと温泉が待っていますよ！

(大木・小林・高根澤・笛田)



芦野温泉

〒329-3443 栃木県那須郡那須町芦野1461

TEL / 0287-74-0211

HP asinoonsen.co.jp

Instagram ashino_onsen



HP



Instagram





大高さんが那須町で過ごしていて良いと感じたことは、自然がいっぱいで、若者もお年寄りも楽しむことができる場所だということ。『地元の食材がとても豊富で、水もきれいで透き通って見える美しい場所。また、秋には綺麗な紅葉を楽しむことができます。そのため県

旅館前などに駐車するスペースが狭く、路上に止めたりすることで通行の妨げになってしまいうため、山奥などではもっと駐車場の整備が必要だったり、また、那須町の人口が減少しているため、後継者が少ないという課題もあるそうです。

外からも、いろいろな方がこの那須町に来てくれています。』と話してくださいました。しかし、那須町にはまだまだ課題があるとおっしゃっていました。



那須の良いところを見つけて

「若い後継者が増えることを願うばかり。他の地域に行ったとしても、那須の良いところを見つけて、この町に戻ってきてほしい。」と大高さんは話していました。私たちも那須町に貢献できるよう、まずは那須高生として、那須町の魅力を発信していけたらと思います。

インタビューは緊張しましたが、大高さんが笑顔で話してくださったので、とても楽しくインタビューをすることができました。

(上田・相馬・豊泉・福岡)



旅館ニューおおたか

〒325-0301 栃木県那須郡那須町湯本 269

TEL / 0287-76-2457

HP okunasunoyado.com



HP

旅館ニューおおたか
大高貴子さん
おおたか たかこ

今回私たちは大高貴子さんにインタビューしました。大高さんは沖縄県出身で結婚を機に那須町に移住。今は、『旅館ニューおおたか』で女将として旅館をまわっています。また、『那須温泉女将の会』の会長としても活躍されています。

大高さんは東京で仕事をしている時に旦那さんと出会い、旦那さんが旅館を継ぐことになっていたため、那須に移住し、旅館で働きだしたそうです。

旅館ではどんな仕事をしているのかを聞いてみました。仕事の内容は、主に接客、お客様の食事の用意、布団敷き、お客様が帰られた後は後片付け、買い出しなどを行っています。家族経営のため、一人ひとりが役割を把握し、協力して仕事をしているそうです。

大高さんは仕事をしている時、自分がお客様の立場だったら、どういう対応をしたら嬉しいかを考える行動している、と話していました。仕事をしていて、宿泊してくださった方々や外国人の方々から「次もまた来ます」というような声掛けをしていただけると嬉しく思い、やりがいを感じるそうです。



タイロン株式会社 那須工場
大塚 透 さん
おおつか とおる



タイロン株式会社 那須工場の品質管理グループリーダーである大塚透さんにお話を伺いました。

タイロン株式会社は、空調送風器材の製造販売などを手掛けており、那須工場の他に、本社である大阪の枚方工場をはじめ、東京、愛知、福岡の五か所に拠点があり、会社として今の55億円企業から100億円企業を目指しているとのことでした。お金の額が大き過ぎてイメージが難しいですが、一人一人が働いていることで莫大なお金が動くのだなと実感しました。

仕事内容は、製品の品質管理やチェックなどを行っているそうです。仕事を依頼された方から喜びの言葉をもらったときにやりがいを感じるとおっしゃっていました。

大塚さんの趣味は、バイクでキャンプに行き、釣りをすることです。バイクは大型のハーレーダビッドソンに乗っており、改造が好きだそうです。また、草野球チームにも所属しており、コミュニケーションを通して出会いの場が作れることを学びました。



自然豊かな那須で働く

那須町の良いところについて伺うと、自然豊かで空気が良く、のんびり生活ができ、さらに人が良いところだとおっしゃっていました。私たちも学校から望める山々を見ると、きれいなところだなとふと感じるときがあります。

那須町の課題については、電車が1時間に一本しかないところだそうです。

那須高生を含め、若い世代に期待することは、わざわざ人込みに紛れながら都会で仕事をする必要はなく、今自分がいる田舎で働いて欲しいのとことでした。このことを聞き、自然豊かな田舎である

那須町で勉強する私たちも、那須町を支える人材の一員になれたらなと思いました。

誰かのためにどこまで尽くせるか

インタビューの終わりに、タイロン株式会社の社員の心はひと

つであり、ぜひタイロン株式会社に入社してもらいたいという言葉をいただきました。那須高生として、同じ那須町にあるタイロン株式会社さんを応援していきたいです。

最後に大塚さんのメッセージを紹介します。「仕事をする上で、諦めない気持ちをもつこと、誰かのためにどこまで尽くせるかが大切だ。」この言葉に非常に感激しました。今後、この言葉を胸に学校生活に取り組んでいきたいと思っています。

(鈴木・瀬尾・相馬・高久)



タイロン株式会社 那須工場

〒329-3215 栃木県那須郡那須町寺子乙 2566

TEL / 0287-72-1152

HP tylon.co.jp



HP

その一方で、課題についても教えていただきました。「高齢化が進んできていることや、カ

澤さんはこう答えてくれました。「積極的なPRにより県内外の移住者が多いから、エネルギーのある人が多いよ。」このことを聞き、那須町ではいろいろな人と関わりをもてることが分かりました。

インタビューを通して、金澤さんはとても元気でポジティブな方で、話していてとても楽しかった

ヌー・スキーなど、天候に左右されるアクティビティが多く、楽しむことができないときがある。」高校生の私たちが那須町を盛り上げ、天候に関わらず楽しめる何かを作り上げることが出来たらいいなと思いました。



(石田・相馬・田中・人見)

です。お話いただいたことは、今後の学校生活や社会人になってからも思い出し、生かしていきたいです。

ネイチャープラネット

HP nature-planet.com
nature_planet.jp



HP



Instagram

ネイチャープラネット
金澤 広大 さん
かなざわ こうだい

仕事は人生の一部

金澤 澤広大さんにインタビューさせていただきました。金澤さんは那須でカヌー体験のインストラクターをされています。

仕事とはどういうものなのか伺ったところ、「仕事は人生の一部です。その仕事で何をするか、その仕事で本当に楽しめるかどうか考えることが大切だと思います。」と答えていただきました。仕事は今まで大変なものだとばかり思っていました。この言葉を聞き、仕事を楽しめるかどうか、しっかり考えることが大切なのだと思います。

また、仕事のやりがいについては「カヌーを体験したお客様にお礼を言われたり喜ばれるとやりがいを感じる。」とおっしゃっていました。

那須町の良いところについて、金澤さんは「やるべきことだから仕事にモチベーションは求めすぎない。仕事以外のところでモチベーションを発揮できるようにすることも大切なことだと思う。」とも。私たちも、自分が何をしたいかだけではなく、周りの人やお客様がどう思ってくれるかを考えながら、そこにやりがいを見出したいなと思いました。





ろ「勉強はそこそこしたつもりだけど、もっと頑張れたんじゃないかと思う。何事もこれで満足ということがなく、もっとがむしゃらにやれたはず…高校時代に戻れたら、今感じている後悔をしないぐらいに何にでも挑戦したいと思う。」とおっしゃっていました。

一人一人との出会いを大切に、精一杯頑張る。」を胸に刻んで毎日を過ごしているそうです。

なりたい自分に

最後にこれからの栃木県と那須町をどんな地域にしていきたいですかと尋ねたところ、小林さんから「たくさんの人たちが住みたいと思う場所、働きたいと思う栃木県、那須町にしていきたい。」「高校生になりたい自分になれる栃木県づくりをしていきたい。」とおっしゃっていました。また、小林さん



は若い人材が栃木県から離れていってしまっていることを憂いていました。そのような状況を覆し、どんな人も積極的にやりたいことにチャレンジできる場所づくりをして栃木県を盛り上げていきたいという真剣な思いが伝わりました。

インタビューを通して小林さんの言葉に背中を押してもらい、私たちもチャレンジ精神を忘れずに多くのことに挑戦し、経験を積み自分の糧にしていきたいです。そして生まれ育った栃木県や那須町に恩返しのできる人間になりたいと思いました。

(君島・高久・遠見・堀江)



小林たつや後援会事務所

〒329-3215 栃木県那須郡那須町寺子乙 2595-17
TEL / 0287-74-3708 FAX / 0287-74-3707

栃木県議会議員
小林達也 さん
こばやし たつや



小 林達也さんは、2019年から栃木県議会の議員を務めていらっしゃいます。「県議会議員は、栃木のために、栃木県民のために頑張る仕事であり、地域の人たちの声に耳を傾ける大切な仕事である。」と教えていただきました。

小林さんは、地域の人たちと気軽に話ができることが特技であるとおっしゃっていましたが、その原点は学生時代の友人との人付き合いにあったといいます。小林さんは小学生のころから友人が多く、常に誰かがそばにいて一緒に遊んだり学んだりしていく中で、悩みの相談や、困りごとへのアドバイスをしていたそうです。

そんな小林さんは、以前、地元で自動車販売業の会社の代表取締役を務められていて、たくさんのお

客さんの様々なニーズにこたえるため奔走していたそうです。お客さんからの多くの「ありがとう」の声を聞かせていただきやりがいを感じていたそうです。もっと多くの人が喜んでくれる仕事をこれからも精一杯やりたいと思い、県議会議員となったそうです。



高校時代に戻れたら

小林さんに、高校時代に戻れたら何がしたいですかと質問したとこ

ヨガインストラクター・インフルエンサー
こんどう あゆ さん
 こんどう あゆ



また、ご自身でコメ作りや野菜作りもしています。自分で作った安全な食べ物を、おいしくいただくことで健康にもなります。こんどうさんの一番の思いは、「ヨガと野菜作りに共通している「健康」ではないかと思っています。また、単に野菜を作るだけでなく、様々な方法で那須の美味しい野菜や豊かな食を知って欲しい！とも話してくれました。

ウェブメディア「NaSuMo」

では、こんどうさんが加入してからフォロワー数が激増！約1年でフォロワー数が2千人から1万人にまで増えました。

こんどうさんが今一番楽しいことは「遊ぶようにする仕事」だそうです。那須という土地で、趣味や仕事を通して出会った人と関わるのが、本当に楽しいとのことでした。こんどうさんと話をしていると、「仕事は大変」という私たち高校生が感じる恐怖心が

（一）
 こんどうさんの職業はヨガインストラクター、インフルエンサー、イベントオーガナイザー、ショップ経営など、多岐に渡っています。

お会いした第一印象は、元気で明るい！こんどうさんはもともと東京出身で充実した生活を送っていました。芸能関係の会社で働いていましたが、やりがいがある一方、苦勞も多くされたそうです。一日中仕事づくめで、体力的にも精神的にも疲弊していた時



那須の印象はやはり、自然豊かであること。那須に移住後も精神的に様々なところで活躍しています。元々、ヨガに精通していたこともあり、ヨガインストラクターを軸に、那須のインフルエンサーとしても活躍しています。ヨガは声がかれば、いろいろな場所へ出張し、講座を開いています。「ヨガを通して健康になる。そしてそれをSNSを使って広めたい。」その気持ちがとても伝わってきました。



に那須移住を考え始めました。

なくなっていくます。私たちも仕事を前向きに捉えられるようになってきたと思います。

こんどうさんは自分のやりたいことだけをしていて、その仕事の取り組み方にとっても感銘を受けました。自分のしたいことや自分の気持ちに素直になることが仕事を楽しむことだと感じました。私たちも仕事の楽しさを見つけないと思っています。

おしゃれで華やかなこんどうさんが、今後どんなところでどんなことをするのかを考えるとワクワクします。これからご活躍を期待しています。

（佐藤・嶋原・高橋・松井）



NaSuMo

あなたの知りたい那須がある

栃木県那須の観光・移住メディア
 NaSuMo(ナスモ)

HP nasumo.jp

Instagram nasumo.jp



HP



Instagram

こんどう あゆ

Instagram ayugwen



Instagram



していることが多かったそうで、その対応をすることが大変だったそうです。また、資格を取るための勉強も大変だったそうですが、図書館を利用したり、先生に質問したりして乗り越えたそうです。そして、現在コロナウイルス感染拡大により、利用者が減ったり、コロナ対策の防護服が暑かったりなど、理学療法士の仕事にも影響が出ているそうです。仕事をしていると大変なこともあると思います。

世代に関係なく

でも凄いいました。



ですが、齋藤さんの仕事に對して真摯に向き合う姿勢や、努力している姿勢はとも凄いいました。

次に、那須高生を含めた若い世代に期待することについて聞きました。齋藤さんは若い世代と高齢の方・地域の人たちが友好的な関係を築いてほしいと言っていました。世代が離れていても友好的な関係を築くためには、普段から交流する機会を増やすことが大切だそうです。齋藤さんの話を聞いて、今後、地域の人たちや世代が違う方々とたくさん交流をして関係を



(岩崎大嶋・茂田・四戸)

深めていくことは、那須町の雰囲気により良くしていくことに繋がると思いました。

今回インタビューした齋藤さんは、目標を達成するまで勉強を頑張っており、今現在、理学療法士として成功し、ご活躍なさっています。たくさん努力をして一生懸命に夢に突き進む姿勢や、仕事に就いた後も利用者さんのために努力し続ける齋藤さんをととても尊敬します。インタビューを通して、私たち高校生でもあきらめない限り夢を叶えられる、ということを教えてもらいました。

那須訪問診療所

〒329-3142 栃木県那須塩原市佐野 2-19
TEL / 0287-73-5511

HP willife.info



HP



那須訪問診療所・理学療法士
齋藤 友紀子 さん
さとう ゆきこ

那 須訪問診療所に勤務している理学療法士の齋藤友紀子さんにインタビューをしました。理学療法士とは医学的リハビリテーションの専門職です。

人と関わる仕事に

齋藤さんは黒田原出身で、学生時代はバスケットボール部に所属していました。部活動を通して人との関わり方を学び、コミュニケーションをとることが得意になっていったそうです。そこから、人と関わる仕事に就きたいと考えるようになりました。

高校まで夢を持っていなかったのですが、高校の先生から理学療法士の話聞いて、興味を持つようになりました。それから国家資格を取るために試験勉強をしたり、理学療法士に必要な知

識などを調べたりして、無事資格を取ることができたそうです。

理学療法士の国家資格に合格した後は、埼玉県川越市で6年間、理学療法士としての経験を積みました。現在は那須町に戻り、那須訪問診療所のリハビリテーションの部署で理学療法士として勤務しています。

理学療法士をやっていて大変だったことは、担当している利用者さんが時々徘徊したり、ぼんやりと



ホテルエピナール那須
佐々木 大地 さん



佐々木大地さんはホテルエピナール那須でお仕事をされています。

佐々木さんは那須高校出身であり、在学中は学業に専念し友人や先生からとても頼りにされていました。小学生の時に「ホテルエピナール那須」を利用してから、ホテルに興味を持ち始め、高校入学後は色々な知識を得て、より接客業への関心が深まっていったそうです。

をしていました。現在はインターネットを中心とした予約サイトの運用やSNSでの情報発信などを担当しています。ホテルへ来る前のお客様にアプローチし、集客をする重要な仕事に携わっているそうです。

「ホテルエピナール那須」に入社後はフロント係としてお客様対応を経験し、今年はセールス&マーケティング課に部署異動したそうです。これまで経験された主な仕事は、フロントやベルなどの宿泊サービスのお客様対応、電話対応、到着した際のお出迎えなど、ホテルの印象を決める大切なお仕事

業務上で大変なことは、お客様が本当に伝えたいことを読み取り、お客様一人一人に合わせた言葉遣いや対応を考えることだそうです。大変なことがある一方、お客様に「ありがとう」と感謝を



いことが見つけれないときの指針にしてほしい、と話してくれました。

那須町は自然が豊かでカフェのような落ち着いた場所が多く、人疲れしない所が気に入っているそうです。休日は家で絵を描いたり作曲をしたりすることが多いそうですが、そうしたカフェで創作活動をするのもあるそうです。那須町を今よりも良くしていくには、大きなお店を増やし色々な人が訪れることができるような場所を増やしていくことが必要だとおっしゃっていました。

を第一に考えています。ぜひ、凛とした素敵な佐々木大地さんに会いに行ってみてください。

私たちはこのインタビューを通してホテルを含め接客への関心が高まりました。言葉遣いや人との関わり方の大切さに改めて気付くことができました。佐々木さんからは自分に対する自信を感じました。それは前向きな姿勢や自分に必要なことをご自身で常に学んでいるからだと思います。私たちもそうした姿勢を見習い、自ら学んでいくことで自信をつけていきたいと思っています。

(石森 伊藤・小口・宇像)

新しいことに挑戦して

若い世代に対しては、沢山旅行へ行くことや、今できること・新しいことに挑戦して、やりた



伝えてもらえたり、仕事を通して新たなことができるようになることで、成長・喜びを感じられ、これまでの経験から観察する力や対人常識が身についたとのことでした。

ほつと息抜きに「ホテルエピナール那須」へ足を運んでみてください。食事はもちろんお部屋、お風呂など全て満足することができます。また、佐々木さんのようなスタッフ一人一人がお客様



ホテル エピナール那須

〒 325-0302 栃木県那須郡那須町高久内 1 番地
TEL / 0287-78-6000

HP epinard.jp
epinard_nasu



HP



Instagram



黒田原第一保育園
高久涼乃さん
たかく すずの



お昼寝の後は室内や園内で遊びます。黒田原第一保育園の園児たちは外で遊ぶことが好きだそうです。保護者がお迎えに来たらその日の様子や連絡事項を伝えます。子どもたちを見送った後は、園内の掃除・片付け、戸締まりをして、一日の勤務が終了するそうです。

高久さんは小さい頃から年下の子の面倒を見てあげることが好きで、小学6年生の頃には1・2年生の教室まで行って話をしていました。そのくらい小さな子が大好きで、面倒見も良い高久さんは、保育士という職業を目指したそうです。

高久さんが那須高校の生徒だったとき、部活動には入らず、勉強に力を入れていて、テストが近くなると先生方が時間を作って指導してくれたそうです。「そのおかげで進学先にも合格し、現



在は夢を叶えて保育士という仕事をすることができています。」とおっしゃっていました。

続いて、生まれた時から那須町に住んでいる高久さんに、この町の魅力についてお聞きしました。「この町の人たちはとても温かく親切で気軽にあいさつができ、コミュニケーションをたくさん取れる人柄が素敵です。」とおっしゃっていました。そして、「自然の豊かさ」と「町並みの良さ」も魅力だと話してくれました。

黒 田原第一保育園に勤めている、高久涼乃さんにインタビューしました。高久さんは、那須町と21年間もの関わりがあります。生まれも育ちもこの町で、なんと！私たちと同じ那須高校出身の先輩でもあり、現在も那須町に住んでいます。

憧れが夢に

保育士になったきっかけは、高久さん自身が幼いころにお世話になった保育園の先生に憧れていたからだそうです。そして子供が大好きという、まさに保育士になるにはふさわしい方だと思いました。そんな高久さんはまだ保育士を務めて1年目なので、早く保育業務を覚え、徐々に子ども達の憧れの先生となれるよう頑張りたいと仰っていました。

次は業務内容について説明したいと

夢をあきらめないで

那須高校の生徒や若い世代の人たちへ「夢をあきらめてしまう人も多いかもしれないけれど、あきらめないでほしい」「何事も中途半端で終えず、最後までやり続けて、夢をかなえてほしい」という言葉をくれました。

私たちは、那須高校に来なければこんなに素敵な町を知らずにいたかもしれせん。この高校に来て那須町の良さを知り、その良さを守り続けてくれた高久さんをはじめとする那須高校の先輩方に感謝を伝えたいです。

(上野・小林・益子・三森)



思います。出勤したらまず開園の準備です。部屋の掃除や、スケジュール確認、朝礼など行い、子どもたちが登園してくるのを迎え入れます。

お昼が近付いてきたら手洗いやうがいなどを促し、お昼ご飯の準備を始めます。子供たちは麺類やパンが大好きだそうです。嫌いな食べ物が出た場合は、その子の好きな話や元気になるように子供たちに寄り添って話をし、一口でも食べられるように補助します。

昼食が終わると排泄などに対応し、お昼寝の準備をして、絵本などを読み聞かせてお昼寝の時間をむかえます。

黒田原第1保育園

〒329-3222 栃木県那須郡那須町寺子丙 71-4
TEL / 0287-72-0753

HP town.nasu.lg.jp/0227/info-0000001243-1.html



HP



那須町商工会
高久 秀樹 さん
たかく ひであき



高久 秀樹さんは、那須町商工会で経営指導員をされている方です。

まず、高久さんが現在注力している仕事、地域づくりの活動について紹介します。高久さんは主に小規模事業者への支援・観光資源による地域発信・情報共有による地域一体となった観光誘客などをおこなっているそうです。

人を喜ばせる仕事

では、なぜ現在の仕事を選んだのでしょうか。それは人を喜ばせる仕事がしたいと思ったからだそうです。インタビューの際、私たちはとても緊張していました。しかし「結局人と人なのだから、緊張しなくてもいいよ。」と声をかけてくださり、高久さんの優しい人柄に触れることができました。相手の



気持ちを考えることができ、本当に人のために尽くせる方なのだなと思いました。

次に高久さん自身の質問をしたところ、高久さんはお客様一人ひとりに合った対応をされていてLINEやSNS等でも相談を受け付けているそうです。また、不安なことをお伺いしたところ、



ました。高久さんは子供たちにいろいろなことを経験してもらい、地域にとどめるのではなく、大人になってから経験したことを楽しかったなと地域を思い出してもらいたいと思っています。そうした経験を子供たちにしてもらえたらいいな、とおっしゃっていました。

とにかく時間が足りない、お客様が調べてほしいことだけではなくプラスアルファのことを伝えたい、とおっしゃっていました。本当にお客様思いで、私たちも高久さんのような大人になりたいと思います。

いろいろな経験を

高久さんは四季の那須フォトカレンダーの制作や、様々な那須のPRもなさっています。そのことで工夫していることを聞き



今回のインタビューを受けて私たちは高久さんから、仕事のこと、人生のこと、これからのことをたくさん学びました。このインタビューで学んだことをこれから生きていく中で大切にしたいです。

ていきます。社会に出たとき、一人ひとりで頑張らなければならぬ部分が多くなります。緊張しすぎず、リラックスして本来の自分であるように頑張ります。

インタビューはとても緊張しましたが高久さんのおかげでスムーズに進めることができました。難しいお仕事をされているので私たちでは理解するのが難しいかな、とも思っていました。高久さんは私たちに優しくわかりやすく教えてください。感謝の気持ちでいっぱいです。

(清永・小松・渡邊・渡邊)



那須町商工会

〒329-3222 栃木県那須郡那須町寺子丙 4-93
TEL / 0287-72-0231

HP nasu.shokokai-tochigi.or.jp



HP



那須町の良いところと課題についてお聞きしました。那須町の良いところは、森が多いところ、自然が豊かなところだそうです。課題については、ソーラーパネルが増えたり、水源が開発

カフェのほかにも、ジュエリー制作（彫金）も約20年間続けているそうです。彫金をやっている自分らしくいられることが楽しいと話してくれました。カフェと彫金の二足のわらじですが、家族のおかげで頑張れているそうです。



カフェ&パイタラゴン・ジュエリー作家
竹井海さん
たけい かい



今回、竹井海さんにインタビューをさせていただき、カフェとジュエリー制作を同時に続けるか楽しみでした。」と話してくれました。

されたりすることで、森林が伐採されて自然が破壊されてしまうことに危機感を感じていると話してくれました。



カフェは創業31年だそうで、コーヒーやパイ、ケーキなどを提供しています。新しくメニューを考えたり、お店の定番メニューのほかに、季節限定のメニューを提供したり、少しでもお客さんに楽しんでもらう工夫をしているそうです。

竹井海さんは、家族でカフェを営みながらアクセサリを制作しています。カフェは、「café&pie taragon」という名前で、よもぎ科のハーブの名前が由来です。「タラゴン」には、お客様がメインであるという意味も込められているそうです。

けていくのは大変だと思いました。一方で、お客さんの気持ちに寄り添い、自分らしくいることが仕事を両立していける秘訣であり、大切なことだと分かりました。

竹井さんは温かくて優しさに溢れている方でした。インタビューの際も、竹井さんの雰囲気のおかげで落ち着いて話すことが出来ました。竹井さんのような素敵な大人になれるよう、日々頑張っていると思います。竹井さんは私たち若い世代に期待をしてくれていると思います。その期待に応えられるような未来を作れるよう努力していきたいと思っています。

（大森・菊地・山本・横山）



カフェの仕事でのやりがいは、お客さんに「ありがとう」と言われることです。お客さんに分け隔てなく親しみを込めて接することが大切であり、楽しいところとおっしゃっていました。親しみを込めて接する理由は、お客さんにホッとして欲しいからだそうです。そんな竹井さんにも、仕事をしていて辛いことがあったそうです。それはお店がテレビで紹介されたときにお客さんが沢山来てくださり、席が満席で断らなければいけないことがあったと話してくれました。

メニューを考えることは大変ですが、責任につながると話してくれました。



Cafe&Pie Taragon

〒329-3224 栃木県那須郡那須町豊原乙 1-497
TEL / 0287-72-6403

cafetaragon



Instagram

METAL CRAFT&JEWELRY
Kai

kaikaumika



Instagram

JUN TREE SERVICE
長谷川 英司 さん
はせがわ えいじ



長谷川さんは、以前は新聞社に勤めていたそうです。編集作業など時間との闘いの仕事の末、生活リズムが崩れ、さらに新聞記事の内容は暗いニュースが多く、精神的な疲れが出てしまいました。体調不良になってしまったそうです。そのため、全く違う仕事であるアーボリストの仕事を行うことにしたそうです。今は心身の疲労感のバランスが良く、趣味のバイクやスノーボードでリフレッシュもできているそうです。アーボリストの仕事は、長谷川さんにとって自分に合った、やりがいのある仕事だそうです。



てみました。まず人が良い、そして個性的な人や観光地が集まっていた、関係密度が素晴らしい。そんな那須町の自然をより良くしていきたいとのことでした。

那須高生を含め、若い世代に期待することは「好きなことをやってほしい、自分のやりたいことにブレキをかけないでほしい」と優しい言葉をかけてくださいました。

緑の多い那須に住んでいてもなかなか知る機会の少ないアーボリストについて知見を深めることが出来ました。アメリカなどにも赴き、様々な樹木を管

長谷川英司さんは、高木にクライミングし、樹木を精密検査し、適切な剪定・伐採を行う『アーボリスト』という樹木を専門に扱う仕事しています。このインタビューでは、世間ではあまり知られていない『アーボリスト』という仕事を、よりたくさんの人に知ってもらいたいと思います。

長谷川さんは、7m以上の樹木の手入れや剪定を行っており、一般の方々にもこの仕事を知ってもらうため、ツリークライミング体験会を実施しています。今後の展望では、危険なイメージがあるこの仕事を安全に行う方法をたくさんの方から学びたい。将来的には、夢のある職業にしていきたいと仰っていました。



理する上で、リスクを最小限に抑えて活動しているところが素晴らしいと思います。仕事にやりがいを見つければ、身体のことも考えて、心にも余裕を持ちながら活動している素晴らしい方だと感じました。また、長谷川さんのように明るく、元気で、行動力のある人になりたいと思います。私たちもセーフティーファースト・安全第一を心掛け、日々の生活を大切にしていきたいと思っています。

(今野・大平・三上・本橋)



仕事で気を付けていることは、もしものことを考えて、樹木だけでなく人も大切にするためにセーフティーファースト（安全第一）を常に心がけて仕事をするということです。

樹木の精密検査について具体的にどんなことをするのか聞いてみました。例えば、横に育ってしまった枝の近くに新たな枝が生えてしまった場合、新しく生えた枝がうまく育たなくなるので剪定をしてあげたり、木に生えているキノコを見ることが木の中が腐っているかどうかの判断などができそうです。



JUN TREE SERVICE 株式会社

〒329-2745 栃木県那須塩原市三区町 730-14
TEL / 080-5453-4530

HP juntreeservice.com
Instagram [juntreeservice](https://www.instagram.com/juntreeservice)



HP



Instagram



百姓はたけやま・千振のいちご畑
畠山 奈々子 さん
はたけやま ななこ



「いちごで有名な栃木県。とおとめやスカイベリーなど栃木県には沢山の品種があります。がその中でも『なつおとめ』といういちごはご存知でしょうか？『なつおとめ』は栃木県で品種登録した、夏から秋に収穫できるいちごです。そんないちごを那須町で作っている畠山さんに『なつおとめ』のあれこれやご自身について色々とお聞きました。

畠山さんは『那須地方夏秋どりいちご生産協議会』という団体に所属しており、千振地区でいちご畑を営んでいます。このいちご畑で採れるいちごが今回の目玉でもある『なつおとめ』です。

畠山さんのなつおとめは洋菓子店などで使用され、美味しいケーキをはじめ、その時々で色々な商品に姿、形を変えていきます。もち



ろん一般の方にも販売しており、そのため

畠山さんの農場では一般の方に向けて直売所を設置しています。

洋菓子店さんや他の農家さんとのいちごの取引に関わる際など、人とのコミュニケーションをとる上で大切にしていることを教えてくださいました。「相手の顔を見て明るい声で挨拶することを心がけています。」と話してくれました。



畠山さんがこの仕事をしていて感じるやりがいをお聞きしました。「農業をやっていく中で、収穫できたものを人に食べてもらったときに、美味しいと言ってもらえることが何よりも嬉しい。」と楽しそうに語ってくれました。

那須町の良いところや若い世代に期待することは「那須町は自然や四季を感じながら生活できるところが良いところだと思っています。若い方にも自然と暮らすことの良さを知ってもらい那須町や那須町の農業にも興味を持ってもらえたら嬉しいで



す。」とおっしゃっていました。私たちが美味しく食事ができるのは、食材一つ一つ丹精を込めて作ってくださった全国の農家さんのおかげです。「農業という仕事は大変なことはかりですが、とても楽しいです。」とインタビューの最後に笑顔で語ってくださいました。初めての出会いで、お互いとても緊張していた中、会話を重

ねていくうちに良い雰囲気です。インタビューすることができました。気になることを何度も畠山さんに質問して、農業という私たちの身近にあるものを改めて一から聞くと、大変な仕事だなと思った反面、農作業のやりがいを知ることができてよかったなと思いました。

畠山さんのような方がいらっしやるのであれば、那須町のいちごはこれからどんどん伸びていくのではないのでしょうか。畠山さんは那須町のいちご農家を支える一つの大きな柱のような方でした。

(小室・佐藤・畠山・人見・吉田)



百姓はたけやま

〒 329-3222 栃木県那須郡那須町豊原丙

Instagram 100syou_hatakeyama



那須高原りんどう湖ファミリー牧場
平山 沙弥香 さん
ひらやま さやか



平 山沙弥香さんは那須高原りんどう湖ファミリー牧場で働いています。平山さんは私たちの高校の先輩で、那須高校時代はJRC部に所属していました。そこでは、学校から駅までのゴミ拾いや、老人ホームで施設内の方々と一緒に様々な遊びをするなどの地域貢献活動をしていました。

お客様に楽しんでもらうために

まず、そんな平山さんに那須高原りんどう湖ファミリー牧場でのお仕事について伺いました。平山さんは主にメリーゴーランドなどのアトラクションの担当をしています。その他にもCSプロジェクトというお客様満足度を上げるために期待以上のサービスを提供する企画に参加しています。この



企画では、満足度を確かめるためにアンケートを実施し、お客様の意見を集め、改善の方法を探したり、指で狐のような動物のサインをつくり、若者にSNSなどを通じて広めてもらう試みをしたそうです。平山さんはこのように日々プロジェクトチームのメンバーとお客様に楽しんでもらうために何ができるかを話し合い、実行しています。お客様からの「楽しかっ



た。そして、日々を大切に、今しかできないことに常にチャレンジして、もしそれで辛い思いをしても笑顔を絶やさず前向きでいてほしいと私たちに伝えてくれました。ま



今しかできないことに常にチャレンジする」という言葉を今後に生かして生活していきたいです。

(荒井・上村・大森・岸・佐藤)

た」や「また来ます」などの声を聞いたり、楽しんだりしている姿を見るたびにやりがいを感じているそうです。

笑顔を絶やさず前向きに

平山さんは私たちに、ご自身がボランティアに参加したように、高校生のうちにしか作れない思い出をたくさん作ってほしいとおっしゃっていました。

平山さんにインタビューをしてみてもっとよく知り、より好きになって、那須町の良さを自分たちで広めていけるようにしたいと思いました。平山さんがおっしゃっていた「日々を大切に、



那須高原りんどう湖ファミリー牧場

〒325-0397 栃木県那須郡那須町高久丙414-2
TEL / 0287-76-3111

HP rindo.co.jp

Instagram nasurindouko



HP



Instagram

他にも藤田さんが教えてくだ

それは関東平野が一望でき、運が



みちのく民芸店（民芸品と喫茶）
藤田 和典 さん
ふじた かずのり



さったことを紹介します。湯本
では、硫黄苔という珍しい苔が
あるということ。湯本温泉では、
鹿の湯という酸性の強い温泉が
あり、栃木県では一番古いと言
われていることなどを教えてく
ださいました。

失敗してもいい

インタビューをして印象に残った
言葉は「物事を一生懸命やる
事、若いうちは失敗してもいい」
「学生は学生らしく勉強する、
学生のうちに出来ることをす

み ちのく民芸店の店主、藤
田和典さんにインタビューし
ました。

藤田さんは、最初学校の教員に
なりたと思っていたのですが、那
須から離れてしまったため、家業
を継ぐことにしたそうです。こ
の仕事で藤田さんは民芸品のぬ
くもりや、那須の四季折々や歴
史を伝えることに注力している
とおっしゃっていました。『那須湯本
周辺散策マップ』を自主制作した
りもしているそうです。

民芸品のぬくもり

仕事の内容とやりがいをお聞きし
ました。今の仕事は全国の民芸品
や那須の篠竹細工などの地元民
芸品を販売することで、お客さん
に手作りのぬくもりを知ってもら
うことだとおっしゃっていました。

「この二つの言
葉は一見当たり前のことに聞こえま
すが、当たり前だからこそとても
大切なことだと思いました。」

自分の地元のことでも、インタビュ
ーで新たに知った事が多くあり、今
回聞いた事以外にも、自分で調べて
みようと思いました。藤田さんが民
芸品について説明をしている時や、
那須の良いところについて話をし
てくれた時に、とても生き生きとし
ていて本当に那須が大好きなのだと思
いました。そんな那須を私たちも
大切にしていきたいと思いました。

（秋山・大森・藤田・渡邊）



お店での接客を通して、那須町の
良さを広めています。お店に来て
くれたお客さんの喜びを仕事のや
りがいにしているそうです。



次に那須町の良いところ等につ
いてお聞きしました。那須町は、
雄大な自然があり心が落ち着く
ところと教えていただきました。
中でも那須山は本当に美しく、
恋人の聖地と呼ばれている場所か

みちのく民芸店

〒325-0301 栃木県那須郡那須町湯本130-1
TEL / 0287-76-2337

みちのく諸国郷土民芸館

〒325-0301 栃木県那須郡那須町湯本ツムジガ平481-4
TEL / 0287-76-3366

HP michinokumingei.com



HP



今の仕事ではない、別の仕事をしていたら自分は何をしていると思うかを布野さんに聞いてみたところ

中央中学校では、栃木県吹奏楽コンクールで2年連続金賞という素晴らしい成績を修めました。

その結果、布野先生が顧問を担当した那須中学校では、関東吹奏楽コンクールに2年連続出場。那須

内で優秀な成績をおさめている指導者のもとへ自ら出向き、吹奏楽に関する様々な知識を教えてもらったそうです。

可能性に期待

那須町を含め、若い世代に期待

最後に、那須町の良い点と課題について聞いてみました。良い点は、魅力に溢れた観光スポットがたくさんあり、県外から多くの方が来ることです。課題は、車がないと何もできないこと、車以外の移動手段が少ないこと、とのことでした。

ろ、一つは塾の講師で、もう一つはミュージシャンだと言っていました。とても布野さんらしい答えだなと思いました。

今、那須中央中学校で教員をしている布野さんですが、どのような仕事で、何をやりがいに働いているかを聞いてみました。布野さんは教員として生徒に勉強を教え、その上で生徒にとって

生徒との交流を大事に

最初に、布野さんのお仕事について説明します。布野さんは那須中央中学校の教員として働いており、二学年主任と吹奏楽部の顧問をしています。Google認定教育レベルの資格とマイクロソフト認定教育インベーターの資格を取得し、学校現場におけるICT教育の推進もしています。

最初、布野さんのお仕事について説明します。布野さんは那須中央中学校の教員として働いており、二学年主任と吹奏楽部の顧問をしています。Google認定教育レベルの資格とマイクロソフト認定教育インベーターの資格を取得し、学校現場におけるICT教育の推進もしています。

安心安全の環境を作ることを中心とした仕事としています。そんな布野さんの仕事のやりがいは生徒との交流や行事などだそうです。

その中で、布野さんが那須町にきて特に努力していることは、吹奏楽部の指導です。小中学校では吹奏楽部には入っておらず、教師になつてはじめて吹奏楽に触れたそうです。吹奏楽部の顧問になるにあたって、吹奏楽に関する知識が必要だと考え、県



(余・福井・三森・三森)

することは、「たくさんの可能性がある、その可能性に期待をしている」と話してくれました。

私たちの中学時代の先生でもある布野さんにインタビューすることができ、中学生の時には聞いたことのない様々な話を聞けてとても嬉しかったです。また、教員という視点から見た私たちが一体どういうものなのかを知ることができて、改めて自分を見つめ直すとても良い機会となりました。この経験を進路選択や進学、就職などに生かせると思います。

〒329-3222 栃木県那須郡那須町寺子92

TEL / 0287-72-0059

HP nasucho-jh.edumap.jp



HP

那須中央中学校

増淵さんが思う那須町のいいところは、自然が豊かなところや、星空がきれいなところだとおっしゃっていました。誰しも星空には心惹かれます。星空がとてもきれいに見える那須町の良さを実感しました。そして、もっとたくさんの方に那須

さんの立場に立って仕事に精一杯取り組みたいと思いました。



(後藤・平山・星・益子)

最後に、もし今の記憶をもったまま生まれ変わったとしても、同じ仕事をしたいですかと伺ったところ、趣味を生かして今の仕事をやっているのぜひ同じ仕事をしたいとおっしゃっていました。私たちも、そんなやりがいをもてるような仕事が見つけられるよう頑張りたいと思います。

たくさんさんの経験と学びを

町のことを知って欲しくなりました。

合う仕事を見つけるために、興味関心のあるものに積極的に関わっていく姿勢が大切だと思うようになりました。そのためにアルバイトなどを通して、どのように仕事と関わっていくか考えてみたいと思います。

マウントジーンズ那須【Mt.JEANS】

〒329-3223 栃木県那須郡那須町大島
TEL / 0287-77-2300

HP mtjeans.com
Instagram mt.jeans



HP



Instagram

マウントジーンズ那須 増淵 耕樹 さん ますぶち こうじ



増 淵 耕 樹 さん は、スキー場のマウントジーンズ那須で働いています。

スキーを始めたきっかけは父親の影響で、高校卒業後18歳から本格的に始めたそうです。スキーが上手になるためのコツを伺ったところ、怖がらないこと、スピードをコントロールすることだとおっしゃっていました。今度スキーをするときに実践してみたいです。

危険を未然に防ぐ

仕事内容は、パトロールの隊長をしており、主にスキーのコースの安全管理や、スキー場のルールや



マナーの啓蒙活動です。お客さんの動きをよく観察し、危険がある場合注意をして、怪我を未然に防ぐことを意識しているそうです。怪我人が出てしまった場合の救護活動も行っています。お客さんを救護したときにもらう感謝の言葉に、嬉しさや仕事のやりがいを感じるそうです。

お客さんに安心してスキーを楽しんでもらったり、喜んでもらったりするために自分がやって嬉しいことを心掛けて活動をしています。私たちも働き始めたら、お客





フクロウ

オオルリ (県鳥)

カモシカ (県獣)

私は自分が生まれた場所、住んでいる場所について考えたことはありませんでした。改めて考えてみると、天気が良い日に

村山さんに那須高校を含めた若い世代に期待していることについて聞いてみました。村山さんは、「自分の住んでいる場所を好きになってほしい。誇りに思ってもらいたい。」とおっしゃっていました。

自然と動物と人間と

学生時代の思い出は、昆虫採集と読書だそうです。また、将棋もかなりの時間を割いていたという印象があるとも言っていました。大学生の頃は、専門（国文学）の研究と山小屋のアルバイト、貧乏旅行で訪れた北海道や西表島の景色などが心に残っているそうです。

見える茶臼岳の山々、流れている川、生い茂る木々が本当にきれいで素晴らしいと思いました。動物が生き生きと生活し、人間と共存している。そのような光景が見ることができるとこの地域は本当に素晴らしいと思いました。

私たちがインタビューした村山二朗さんの仕事に対する姿勢や考え方、また地域愛、そしてお客様へのサービスなどが、とても印象的で素晴らしいと思いました。村山二朗さん、これからも健康なお身体で、那須高原の未来を切り開いてください。

(秋庭・重田・田村・山本)



栃木県立なす高原自然の家
村山 二朗 さん
むらやま じろう

私たちがインタビューしたのは、村山二朗さんです。

村山さんは、なす高原自然の家で所長をしている方です。教員退職後、なす高原自然の家に勤めることになり、施設運営全体に関わっています。村山さんは、那須にこだわったネイチャーフォートの撮影もしています。

楽しさや学びを

村山さんたち、なす高原自然の家の職員の仕事は、利用者に施設の使い方を説明したり、体験活動をサポートしたりすることです。その中で、村山さんはこのようなことを言っていました。「お客

様にいろいろな体験をしてもらいたい」「活動のおもしろいところを伝えたい」「活動を通して、楽しさや学びや気づきをしてもらいたい」と。

私も昔、なす高原自然の家の創作活動に参加したことがあります。そこで、仲間と協力することの大切さや最後まで活動をするこの大切さを知ることができました。



栃木県立なす高原自然の家

〒325-0301 栃木県那須郡那須町湯本157

TEL / 0287-76-6240

HP windy-nasu.jp

windynasukougen



HP



Instagram



私たちは矢村さんがどんな高校時代を送っていたかお聞きしました。矢村さんは高校時代、毎日自転車で登校しながら、卓球部に所属しており、毎日の部活動で3〜6キロの走り込みをしていました。そのおかげかマラソン大会では、1年生時に15位、2年生時は1位になりました。そのうち10位以内に卓球部が6人入賞したそうです。

やる気と責任感

矢村さんが今の高校生に期待することは、失敗を恐れず、やりたいこ



とを目標にし、自分の夢を持ち何事にも挑戦することです。「ノーアタック・ノーチャンス（自分で動かなければ何にもならない）」そのチャンスを得るためにやる気と責任感を持ち続けなければいけないとおっしゃっていました。

若い間に好きなことをやっておくこと、やればよかったという後悔をしないように失敗しても前向きに行動すること、悩んだ時は自分が今できることをやること。これらが大切だそうです。



(井上・嶋田・関根・山上)

さらに高校生のうちにとっておいた方がよい資格は、自分の能力を生かせる資格、資格が取れる学校に進学することなど、資格の重要性を説いてくれました。やる気と責任感を持って、社会経験を積み、アルバイトでコミュニケーション能力を高めることも大切だそうです。

今回、矢村さんにインタビューをして、やりたいことを見つけ、失敗を恐れず挑戦し続けることの大切さを知ることができました。私たちも誰かのためになる仕事を真剣に取り組める大人になるために、高校生生活を大切に過ごしていきたいです。

那須町役場

〒329-3292 栃木県那須郡那須町大字寺子丙3-13

TEL / 0287-72-6901 (代表)

HP town.nasu.lg.jp



HP



那須町役場

矢村 浩一 さん

やむら こういち

様々な分野の仕事

矢村浩一さんは那須町役場で環境課の課長として働いています。矢村さんの職業である町役場の職員は様々な分野があり、何年かごとに部署の異動があります。矢村さんは、過去に災害復旧や橋梁工事などの仕事に携わっていました。現在の環境課では、放射能物質の保管・処分に関することや、再エネルギー事業を推進したり、二酸化炭素の排出量を抑制する取り組みを行っているそうです。



矢村さんは、相手のことを思いながら中立な立場で、町民の皆様に平等に役に立て

ることがやりがいであるとおっしゃっていました。那須町役場には、那須町の環境を整えて、みんなが使いやすいようにするだけでなく、ごみの収集や道路の修復、福祉に関することなど、いろいろな分野の仕事があるため自分のやりたいことが見つかるかもしれないと教えてくれました。

那須町の良さは自然が豊かなところ。一番の資源である自然を生かし観光地を盛り上げ、観光客数と利益を増やすことが課題だそうです。





た。自己肯定感もとても大切なんだそうです。小さいころの何気ない経験も土台になっていくんですね。

那須や私たちへの思い

米倉さんは那須町について、自然が豊かなところがいい点だとおっしゃっていました。絵を好きになったきっかけも自然にふれ、その景色や物語を書きたくなったからだそうです。

また、米倉さんが、私たちに期待していることを話してくれました。まずは『自然を守る、環境を知る』ということです。お話を聞きながら、那須高校で行っている「黒田原駅周辺清掃」や「オオハンゴンソウの駆除活動」のことを連想しました。那須の自然を守るために自分たちができることはたくさんあると感じました。

次に『夢を叶えてほしい』ということです。夢は、進路を決める点でも重要なこととです。すでに夢を持っている人でも、そ



(秋元・石田・須田・戸上・室井)

うでない人も、『その時の流れに身を任せる・今何をしたいのか』それが大事だと米倉さんは言います。そのことを心に刻みながら、託された思いを無駄にすることのないように、自分の意志を持ち周りをよく見ながら生活していると思います。これからの米倉さんのご活躍を心から願っています！



画家
米倉 万美 さん
よねくら まみ

米 倉さんはイラストレーターでありながら、那須高原作家協会への所属、那須フィルムコミッション副理事長、白面金毛九尾狐太鼓メンバーのしめ太鼓担当など、この地域でもとても幅広く活動されています。

イラストレーターとして、個展やグループ展で作品発表、出版物に挿し絵、銅版画の制作などを行っているそうです。個展は35年以上続けており、グループ展も含めると計100回以上にもなるそうです。

なんと！あの有名な『アンパンマン』を生み出した、やなせたかしさんのお弟子さんでもあったんです。約3年ほど師事されていたそうです。



影響を受けた絵

米倉さんが影響を受けた作家は、『谷内六郎』さんです。特に、週刊誌の表紙の絵柄がお気に入りだそうです。また、日本人だけでなく世界中の画家を尊敬し、その影響を受けているとおっしゃっていました。

米倉さんの感性は、小さいころに作られ、そこから少しずつ育まれていったと教えていただきました。

那須まち人物図鑑2 ができるまで



ついに完成!!
やった〜!!



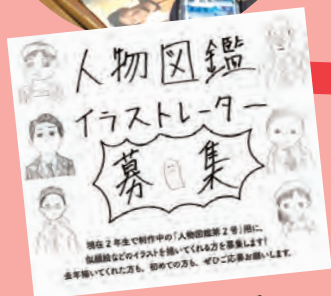
ミスがないか
何度も何度も確認して...



表紙は明るい色に!
目次に顔写真を入れよう! など
アイデアをデザイナーさんに
伝えます



編集委員もイラストに
チャレンジ!



チラシを作って
似顔絵イラストを描いてくれる人を
全学年から募集しました



好きな雑誌などを持ち寄って
デザインの参考にしたり、
インタビュー以外のページを
考えたり...

この表紙
使えそうだね!



タブレットで
講師さんのことを
調べながら
質問を考えます

インタビューしてみたい!
詳しく知りたい! と思う
人物像をアンケートで
調査します



生徒が決めた
職種やお店を元に、
インタビューを受けてくださる
講師さんを探します



ついに
インタビュー本番!!

緊張するな〜
ドキッ! ワクッ!



編集委員会発足!



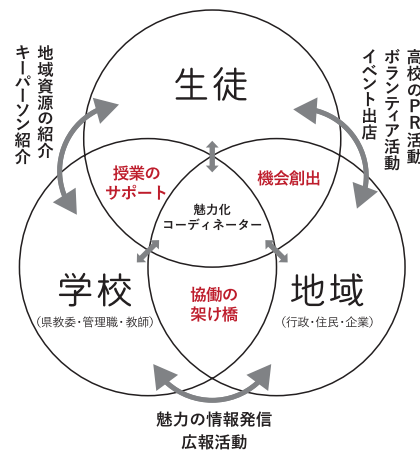
インタビュー内容をまとめながら
完成に近づけます

那 須高校は小規模特例校に指定されています。生徒数減少は学校だけで解決できるものではなく、行政・地域・高校が一体となって、課題解決に協力していくことが求められています。また、過疎化・少子高齢化の進行もあり、高校が町から無くなることでの経済的ダメージは図りしれず、将来の地域の担い手不足にも直結し、とても深刻な問題となっています。

そこで那須高校では、魅力化コーディネーターが配置され、高校と地域を結び役割を担い、高校の先生たちと一緒に、那須高校の魅力化に取り組んでいます。

まずは、行政職員・生徒の保護者や地域住民・先生など、誰もが共通認識を持つて今の那須高校の現状を把握することが重要であると考え、高校を「見える化」することから始めました。

那須高校魅力化プロジェクト
フェーズ1「見える化」



◎地域・行政に向けて

主に地域企業・住民の方に、現在の那須高校を知ってもらうために、今年度から那須町の広報誌にコーナーをいただき「那須高校タイム」を2022年8月号から毎月、高校の魅力となることを記事にして情報発信を行っています。また地域社会と協働体制を作っていくことが、今後の課題と考えています。

◎学校・教員に向けて

今年度から本格的に施行された「総合的な探究の時間」の授業では、那須を知る、人物図鑑制作、SDGsについてなど、生徒が探究活動するうえで必要な地域資源

源を活用できるよう、先生たちのサポートを行っています。主に人物図鑑であれば、那須で活躍する方々をリストアップし、生徒たちが興味のある職種のインタビューができるように調整などを行っています。

◎生徒に向けて
地域での体験活動などを学んだ生徒は、主体的に卒業後の進路を選択し、将来的には地域の担い手として活動できると考えています。そのため生徒が率先して地域で活動できるようなボランティアやイベント出店、高校のPR活動ができる機会などを模索し、準備をしています。また地域に向き合う素敵な大人達との出会いの場を作っていくことによって、共存共栄していくキッカケになると考えています。

那須高校の魅力化プロジェクトは始まったばかりです。那須高校で学ぶ生徒たち全員が、自信を持って自分の意思を表現できるようになり、那須への誇りを持ちながら、地域や社会に貢献できる生徒となっていくことが、那須の未来に繋がっていくと思います。まだまだ魅力化コーディネーターだけの力では、魅力化プロジェクトを成し遂げることはできません。この人物図鑑をお読みになっている方たちの協力が必要不可欠です。是非、那須高校と那須地域と子どもたちの未来のために、今後とも皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

那須高校の生徒より講師のみなさまへ 〜本当にありがとうございました〜

秋元さん 近い距離で話してくれてインタビューしやすかったです。接客について詳しく教えてください、ためになりました。将来に役立てたいです！ **井下田さん** お客様がお店に来やすいよう雰囲気明るくしたり、若者から年配の方まで気楽に来店できるようにしていることが素敵だと思いました。 **石田さん** 音楽のこと、作曲、東京での仕事、雅楽などたくさん教えてください。過去の話や音楽以外のお話も勉強になりました。またお話をさせていただきたいです。 **石山さん** 福祉には、介護の他に母障がい者福祉というものがあることを知ることができました。 **伊藤さん** インタビューを通して、温泉の良さ、芦野温泉の魅力についてたくさん知れて嬉しかったです。 **大高さん** 気さくに話してくださったおかげで、とてもインタビューしやすかったです。人柄が大事だということを知り、自分も将来に役立てようと思いました。 **大塚さん** タイロン株式会社さんのお仕事内容ややりがいなど多くのことを知れて良かったです。今のうちにできることはしておきたいと思いました。 **金澤さん** 那須町の良いところや仕事のやりがい、人としてどうあるべきか、カヌーのコツなどいろいろ教えていただきありがとうございました。自分の夢に向かって頑張ります！ **小林さん** 県議会議員の方とお話したことがなかったので非常に学びになりました。栃木県に対してどんな強い思いがあるのかを伺うこともできました。 **こんどうさん** 明るく、とても話やすく、インタビューをしていて楽しかったです。那須町にはいろいろな観光スポットがあることを知りました。 **齋藤さん** 理学療法士の方にインタビューさせていただき、とても貴重な体験ができました。元気な齋藤さんとのインタビューは楽しかったです。リハビリテーションについてとても良く知れました。 **佐々木さん** 自分に自信を持つことが良いことへの導きになると感じることができました。 **高久涼乃さん** とても緊張しましたが、将来に関わるアドバイスや、保育園や保育士について貴重なお話を聞くことができました。将来につなげていきたいです。また、那須町の魅力に改めて気付き、さらに那須町に対する思いが強くなりました。 **高久秀樹さん** 高久さんのおかげで将来の選択肢が増えました。 **竹井さん** 緊張していた私たちにあたたかく優しく声をかけてくださり、楽しくインタビューできました。「2足のわらじは大変だけど楽しい」とおっしゃっていたのが印象的です。カフェの仕事に興味を持つことができました。本当に楽しかったです。 **長谷川さん** 私たちのペースに合わせて話をしてくれたのでとてもインタビューしやすかったです。自身の体験をお話するのが上手で、後でプリントに書くときに自然とスラスラ書けました。アーボリストになる大変さ、技術だけでなく身の回りの注意や安全第一など周りを気づかう大切さを教えていただきました。周りを気遣える人になりたいと思いました。 **畠山さん** 夏のいちごがあることを初めて知りました。畠山さんのように笑顔を届けられる高校生になっていきたいです。 **平山さん** 那須の自然を大切にしようという気持ちを改めて確認することができました。話してくださったことをいかし、この那須町で生活していきたいと思います。 **藤田さん** 那須町で行われている事業や民芸のことについて理解を深めることができました。 **布野さん** 中学校の時には知れなかったことを知れたり、将来について見つめ直すことができました。今から武器になることを見つけたり、将来に関することを研究したり準備をしたいです。 **増淵さん** 山の警備は大変だなと思いましたが増淵さんが楽しそうだったので、すごいと思いました。スキーで栃木代表になったと聞いてとてもびっくりしました。将来仕事に就くときのアドバイスやスキーのいろいろを教えてくださいありがとうございました。 **村山さん** 村山さんと一緒に働く方、地域の方々が本当に動物を大切にしていることがわかりました。見せてもらったツキノワグマの写真など大迫力で生きる自然や動物のことがひしひしと伝わりました。笑顔で質問に答えてくださったおかげで楽しいインタビューになりました。 **矢村さん** 那須町役場の詳しい仕事内容を知ることができ、とても興味深かったです。 **米倉さん** いつも何気なく登校している通学路ですが、守っていききたい自然や風景がたくさんあることに気付きました！このことを頭に入れながら生活していこうと思います！



興味・関心のあることに積極的に関わっていきこう！

周りをよく見て、知って、自分の意見を持ちたいです



あきらめない！
学び続ける！
自分に自信を持つとう

やりがいのある仕事を
見つけたいと思いました



失敗することを恐れずに
チャレンジ！



夢に向かって
突き進んで
いきたいです



那須まち人物図鑑 2 編集委員会

編集長 大森 南奈

副編集長 橋本 眞季

副編集長 相馬 大輝

副編集長 畠山 七海



イラストレーション

安藤 唯

岩崎 友亮

薄井 愛美

大森 南奈

小室 南

高根沢 伊織

橋本 眞季

平山 綾乃

編集後記

今回の那須まち人物図鑑は、生徒による編集委員会が発足し、生徒主体として作られました。編集委員会では、去年の良かったところ、悪かったところなどを話し合ったり、表紙や似顔絵をどうするか決めたりなどやることがたくさんありました。好きな雑誌を持ち寄って、良いと思うまとめ方やデザインを取り入れたりもしました。今までにやったことのない編集委員としての本づくりは、とても大変だった反面、嬉しいことや楽しいことがたくさんありました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

那須まち人物図鑑 2

2023年2月28日発行

制作/発行 栃木県立那須高等学校

「未来を創る高校生地域連携・協働推進事業」の指定を受けて
「総合的な探究の時間」で製作されました

お問い合わせ 栃木県立那須高等学校

〒329-3215 栃木県那須郡那須町大字寺子乙3932-48

TEL 0287(72)0075

FAX 0287(72)6325

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/nasu/>

写真 那須高校魅力化コーディネーター 佐藤 達夫 (CAZESUN)

デザイン 那須高校魅力化コーディネーター 真柄 奈津子 (CAZESUN)・那須まち人物図鑑 2 編集委員会

© Tochigikenritsu Nasu koutougakko all rights reserved.

本誌内容の無断転記・記載・複写を禁じます。

